

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神障害作業療法治療学演習		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
加藤 智也 他	C312	tomoya.kato	水曜日 10:30~12:30		
授業の目的・概要	ICF 及び作業療法の理論・実践モデルについて学び、演習を通じて精神障害作業療法治療学を修得することを目的とする。実際の臨床現場で起こる現象を読み解き、作業療法がどのように展開されるかを学ぶ。さらに、具体的場面を通して臨床思考を養っていく。本科目は 2 コマ及び最終回 3 回連続の計 30 回の授業で実施する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	本科目は精神医学で学んだ精神疾患の知識や精神障害作業療法治療学で学んだ知識を臨床時に生かせるように、推論を加えた実践的な理解を促進していく。				
教科書	標準作業療法学 精神機能作業療法学 第3版 / 編：新宮尚人 / 医学書院 / 2020				
参考書	精神障害と作業療法 新版 / 著：山根寛 / 三輪書店 / 2017				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健医療福祉と作業療法の歴史を説明できる。			HSU(2) (3)、OT(1) (2)	
②	精神障害に関連する生活機能について ICF に従って分類、整理することができる。			HSU(2) (3)、OT(1) (2)	
③	精神機能作業療法の理論・実践モデルを説明できる。			HSU(2) (3)、OT(1) (2)	
④	場面別に応じた作業療法の展開を説明できる。			HSU(2) (3)、OT(1) (2)	
⑤	対象者に応じた目標を達成するための作業療法を計画できる。			HSU(2) (3)、OT(1) (2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)	
1,2	オリエンテーション：当授業の位置づけ 精神機能作業療法の基本視点について学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p3-11 及び提示資料の予習をする。 2	
3,4	精神保健医療福祉と作業療法：作業療法の歴史について学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p12-21 及び提示資料の予習をする。 2	
5,6	精神機能作業療法の基本視点：ICF と精神機能について学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p3-11,22-23 の予習をする。 2	
7,8	精神機能作業療法の基本視点：ICF の精神機能と精神医学の精神症状論について学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p3-11,22-23 及び提示資料の予習をする。 2	
9,10	精神機能作業療法の理論・実践モデル：ライフサイクル論とリカバリーモデルについて学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p29-35 の予習をする。事後に提示資料のポイントを整理する。 2	
11,12	精神機能作業療法の理論・実践モデル：人間作業モデル、カナダ作業療法モデルについて学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に提示資料の予習をする。事後に提示資料のポイントを整理する。 2	
13,14	精神機能作業療法の理論・実践モデル：人間性に関する諸理論について学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に提示資料の予習をする。事後に提示資料のポイントを整理する。 2	
15,16	精神機能作業療法の理論・実践モデル：自己の使用と Yerxa の作業療法について学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に提示資料の予習をする。事後に提示資料のポイントを整理する。 2	
17,18	精神機能作業療法の理論・実践モデル：活動の使用と Erikson, J の作業療法について学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に提示資料の予習をする。事後に提示資料のポイントを整理する。 2	
19,20	精神機能作業療法の理論・実践モデル：transaction 論と narrative-in-action について学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に提示資料の予習をする。事後に提示資料のポイントを整理する。 2	
21,22	回復過程と作業療法について学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p36-53 の予習をする。 2	
23	地域生活における作業療法について学ぶ	[担当] 加藤	講義・演習	事前に教科書 p54-63 の予習をする。 2	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

24,25	場面別精神機能作業療法:復職支援における作業療法について学ぶ①	[担当] 柿崎	講義・演習	事前に教科書 p249-264 の予習をする。	2		
26,27	場面別精神機能作業療法:復職支援における作業療法について学ぶ②	[担当] 柿崎	講義・演習	事前に教科書 p249-264 の予習をする。	2		
28,29,30	地域で実践している作業療法の実際について学ぶ: ソーシャルフットボール	土曜開講 [担当] 柿崎、志茂	講義・演習	事前にパラスポーツについて予習する。	2		
試	定期試験						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	精神機能障害に関連する知識について、筆記試験を実施する。試験は講義で使用した教科書・配布プリント、講義において説明した内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。問題(解答)形式は記述・穴埋め、選択式で行う(100点満点、配点柿崎20点、加藤80点、計100点)。			試験後に模範解答を提示し解説する。学生は教科書、配布プリントを参照し要点を再確認する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	志茂 聡、柿崎 崇 (非常勤講師)						
教員の実務経験	本科目を担当する教員は精神科領域の作業療法士として5年以上の実務経験を有している。						

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

実践的授業の内容	テキストと併せて疾患や患者像について視覚教材を用いることで学生の理解に繋げる。 また臨床における治療で得た知見に基づき講義を展開する。
そ の 他	対面で行う授業中となるが、資料提示や質問・コメントの受付に一部オンライン (Teams) を利用する 場合がある。今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって、シラバスが変更される可能性がある。